



不整脈とは いったいどんな病気？

問 稲城市保健センター

☎378-3421

不整脈というのは、読んで字のごとく「脈が不整な状態の総称」です。よって心筋梗塞や肺がん、大腸がんといった疾患名ではありません。

総称ですので、脈が不整になるのは色々な疾患があるのです。緊急性を要するもの(心室細動、心室頻拍、完全房室ブロックなど)、緊急性は無いけれども詳しい検査・治療が必要なもの(連発性の心室性期外収縮、連発性の上室性期外収縮、発作性上室性頻拍、心房細動など)、全く心配の無いもの(洞性頻脈、洞性徐脈、単発性の上室性期外収縮など)と様々な不整脈疾患があります。

動時なのか、睡眠中に症状で目が覚めたのか)、②脈のリズムはどうか(規則正しく速いのか、バラバラなのか)、③突然出現したのか、④持続時間はどうか(瞬間的なのか、分単位なのか、時間単位なのか)、⑤随伴症状はあるか(意識消失したか、気分不快あり嘔吐したか、冷や汗をかいたか)などがあります。

日常生活をしていて、「ドキドキ感を感じる」「ドッキン、ドッキン強く感じる」「脈が抜ける感じ」「脈がバラバラに打つ」などの症状を自覚する時があり、そして、それが突然出現したりするので心配となり、医療機関を受診した経験もあるかと思えます。医療機関で心電図検査を勧められ、その結果で「あなたは、不整脈がありますね」と言われたり、「これは心配ない不整脈ですから経過観察で」と言われたりしたことがあるかと思えます。

以上のように、必要であれば24時間ホルター心電図検査や心エコー検査、採血などをして診断していきます。

緊急性を要する不整脈は、気にするほど多くはありません。ぜひ、検診等で「不整脈」と言われたら、前述の①から⑤までのポイントを整理して、焦らず医療機関を受診してみてください。

①いつ症状が出現したか(体

稲城市医師会

柚須 悟